
平成 26 年度 第三者評価結果 公表資料

特別養護老人ホーム

真愛ホーム

【受審No.26-021】

公表内容

基本情報シート

外部評価結果

施設の見解

家族アンケート回収率 52.3%

一般社団法人神戸市老人福祉施設連盟

第三者評価制度評価委員会

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	特別養護老人ホーム 真愛ホーム	定員	50名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 イエス団	開設	平成8年10月1日
所在地	〒651-0077 神戸市中央区日暮通5丁目5-8	TEL	078-251-7000
交通アクセス	JR三ノ宮駅東口より東へ徒歩12分	URL	http://shin-ai.biz

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業			
・あんしんすこやかセンター ・居宅介護支援事業 ・一般対応型通所介護事業(予防) ・認知症対応型通所介護事業(予防) ・小規模多機能型居宅介護事業 ・小規模特別養護老人ホーム ・併設型短期入所者生活介護事業(予防) ・訪問介護事業(予防) ・サービス高齢者付住宅 ・高齢者向け公営住宅生活援助員等派遣事業			
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)			
●介護・看護職員1名に対する入所者	2.01	名	
●介護・看護職員平均勤続年数	2.5	年	
●介護・看護職員平均年齢	36.2	歳	
●人材確保と育成の方針			
人材確保 介護福祉士養成校及び、職業訓練校の実習受け入れを行い、実習を経て就労へつながるよう就労条件の提示などを行っています。また、就職フェアへ参加したり、近隣の介護学校へ訪問し就職案内を行っています。 人材育成 チューター制度を導入し、新人職員が適切に指導を受けられるようにしています。研修体制を充実させ、質向上に努めています。			
3 施設の方針・理念			
介護理念である「その人の今を大切に」を中心に、その時々の入居者の思いや、願いを汲み取り、その実現に努めます。 また、入居者様を「介護を受ける人」ではなく、「個性豊かな一人の人」として受け止め、その人らしく生きる事を支援します。			
4 施設の特徴			
都心にあるため、交通の便が良く近隣には市場や公園があり、環境に恵まれています。また、複数の介護サービスを展開している為、介護相談から特養入所に至るまで入居者様を総合的に支援できます。			
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ			
ボランティアは、整容ボランティアを始め、囲碁ボランティアやマジックボランティアなど、他にも様々な方々に活動頂いています。 研修は、新人研修から、中途採用者研修、また、介護技術研修・認知症対応研修等、年間を通し多くの研修を企画、実施しています。 実習は、介護福祉士養成学校や職業訓練校の実習を受け入れ、実習生を育成するとともに、職員の指導力も高めています。			
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)			
地域の最大イベントである地域夏祭りに参加し、入居者様を招いて出店や盆踊りを楽しんで頂いています。			
7 居室形態			
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型		<input type="checkbox"/> 個室ユニット型
●料金	居住費 多床室 320円 個室 1150円	食費	日額1500円
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)			
夏祭りやクリスマス会などのイベントには、ご家族様をお招きし、入居者様と一緒に会を楽しんで頂いています。また、ルミナリエや個別外出行事などでもご家族様へ参加いただき、一体的に入居者様を支援しています。			

■サービス提供体制

入所条件
所定の様式にて入所申込をされておられる方であって、ご利用時に「要介護」の認定を受けておられる方が対象となります。 IVH、人工透析、経鼻栄養など医療依存度の高い方は、対象外とさせていただきます。
施設内自由度
外出や飲食物の持ち込みなど、原則自由としています。(疾病等により悪影響が出る場合は、禁止させて頂くことがあります。)ご希望される方は、飲酒も可能です。衣類は、ご自身の普段着て頂いている物を使用できます。
居室の環境
従来型特養で、個室4室、2人部屋5室、4人部屋9室 計18室 全室に備え付けタンス装備。トイレは各居室に完備、カーテンでの間仕切り。テレビ希望者は持込にて対応可(無償)
外出などの自由
当日でも、心身の状態が安定している場合は、原則自由です。
身体拘束・虐待防止対策
職員採用時には、資料に沿って高齢者虐待についての説明を行い、年2回以上、身体拘束及び高齢者虐待についての研修を開催しています。身体拘束は原則禁止です。やむを得ない場合は、三要件を満たし、ご家族様の了承を得るなど、手続きを踏んだ上で対応しています。
食事
委託業者を通し、ゼリー食・キザミ食・粗きざみ食・普通食と、入居者様に合った食事を提供しています。月に一度は、季節に応じた食材を使用し、調理師が腕によりをかけて豪華な食事を提供しています。
入浴
一般浴(大浴場)、特殊浴、ミスト浴と3種類の入浴スタイルを選択でき、好みや身体の状態に応じた方法で安全で快適な入浴を行って頂けます。
排泄ケア
可能な限り、トイレで排泄出来る様配慮し、オムツ対応者にも個々に合った、排泄物品を使用。オムツ交換も入居者様が負担にならないよう、個々に無理のない時間を設定し、パット交換を行っています。
医療体制
3名の嘱託医・1名の精神科医を配置し、入居者様の病状管理や内服管理を行っています。AEDも各フロアに設置し、緊急時に対応できるよう配慮しています。
ターミナルケアの実施
<input checked="" type="checkbox"/> 積極的に行う <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない
認知症ケア
認知症ケア研修を各職員が受講し、認知症ケアの在り方を全体に浸透させるとともに、認知症状のある入居者様が不安にならないよう、寄り添い、受容しています。
アクティビティ
入居者様の共有スペースに新聞や写真集、雑誌等を配置し入居者様が閲覧できるようにしています。また、タオルたたみや食器洗いなど、個々の入居者様の意向や心身の状態に応じた活動が行えるよう対応しています。

特別養護老人ホーム 真愛ホーム

総合評価

- ◎ 意思統一された運営方針の中で、全職員が一丸となって施設運営がされている。利用者に関わるうえで必要な職員研修は充実しており、経営を始めケアに至るまでの総合的な施設運営に際して、採用間もない職員まで含めて参加できている。職員の働く意欲にもその点が表れている。と同時に、その環境下で生活をしている利用者にも穏やかな時間が流れており、良い施設運営がなされている。
- ◎ 残念ながら今年度に限っては諸事情で職員の退職が相次いだが、ほぼ例年退職者も少なく、働きやすい環境が構築されており、今後もより一層利用者や職員に優しい職場になるべく努力を重ねて頂きたい。
- ◎ ただ、日々のことに追われることが多い中で獲得してきた多くの知識を地域に対してフィードバックすることがあまり見られておらず、この点を改善して頂ければより一層地域の核となる存在になるものと思われる。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 人材の確保と育成、キャリアパスなどの仕組みがきちんと確立されており、職員が自らの将来を見据えて業務を遂行できる環境が用意されている。
- ◎ 各種委員会を開催し、職域を超えてきちんと各スタッフまで情報伝達されている。
- ◎ 利用者の情報把握を施設全体で取り組んでおり、各種ケア会議を通じ、またネットワーク化されたコンピュータを利用することで利用者についての情報共有がされている。
- ◎ 感染症、褥瘡、ターミナルケア、認知症についての取り組み（研修、話し合い、医療機関を始めとした連携など）が適切になされており、利用者への支援、ケアの質の向上につながっている。
- ◎ 利用者の外出への希望などに応えるべく方策を検討している。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ マニュアルなどの整理が必要と思われる。
- ◎ 利用者、家族へ伝えたいメッセージ（法人や事業所理念など）がきちんと伝えられる環境の整備が必要と思われる。
- ◎ 地域住民への情報発信の機能が劣っている。例えば、法人で併設している各事業所（あんしんすこやかセンターなど）と協働して、地域への貢献を図ることも可能ではないかと思われる。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 特別養護老人ホーム 真愛ホーム

記入者 施設長

当施設の見解

総合評価の中で職員研修を評価して頂いたことにより、職域を超えた全体研修や専門分野別の研修を開催してきたことで、職員が新たな手法や情報を獲得しながら、自己を振り返り、意欲の向上につながっていることを確認できました。

今後、職員の育成と定着を目的に、OJTとOFF-JTそれぞれの教育効果を考えた新たな取り組みも検討していきたいと思えます。

ご指摘のありました施設が獲得している知識を地域へフィードバックする件については、施設の知識だけでなく、様々な課題を併設事業所と協働し、地域へ展開することによって、地域資源とのつながりを深め、世代間交流も図りながら、地域とともに、施設と地域で暮らしておられる高齢者の方々の生活支援を実践していきたいと思えます。

この度の第三者評価とご家族からのアンケートで明らかになった課題については、理念に基づいた改善策を実行しながら、これからも理念の実現を目指したサービスに取り組んでいきたいと思えます。